

能登の創造的復興に向けた道筋を示すため、被災地の方々へのヒアリングや、アドバイザーボード会議での有識者からの意見も踏まえ、令和6年6月、「**石川県創造的復興プラン**」を策定

現在の進捗状況や令和7年度当初予算の成立を踏まえて、**取り組みの追加・拡充、各施策の過程を示す「タイムライン」の見直し**等、定期的なアップデートを図るもの。

＜追加・拡充した主な取り組み（新たに追加した取り組み23件・拡充した取り組み89件）＞

◎印：今回、新たに追加した取り組み ○印：既存の取り組みで内容を拡充したもの

## 1 教訓を踏まえた災害に強い地域づくり

- のと里山海道4車線化の整備促進  
(柳田IC～上棚矢駄IC間(R7年内2km供用)、上棚矢駄IC～徳田大津JCT間)
- 幹線道路の強靱化・移動高速化  
(のと里山空港を中心とした2市2町へのアクセス道路である珠洲道路・門前道路・奥能登横断道路の高規格化等)
- 能登半島絶景海道の整備  
(路肩拡幅や隆起海岸を望む休憩施設・視点場等の整備検討)
- 道の駅の防災機能強化(自立型トイレの整備に向けた調査等)
- 奥能登豪雨も踏まえた河川、砂防施設等の強靱化
- ◎被災家屋の保存・活用に向けた調査支援
- ◎災害支援のNPO等との連携体制構築に向けた災害中間支援組織の設置検討
- いしかわサテライトキャンパスの推進(県内外の受入学生数の倍増)
- ◎春蘭の里「ゼロカーボンビレッジ」での水素実証の推進
- ◎風化防止と後世への伝承(シンポジウム等の開催) 等

## 2 能登の特色ある生業(なりわい)の再建

- 能登事業者支援センター・ILAC能登の機能強化
- 被災地での求職・求人のマッチング実施  
(出張相談会や個別訪問等のプッシュ型支援、副業・兼業人材の活用支援、能登復興推進隊による担い手の確保)
- ◎経営環境の変化に対応する新たなチャレンジへの支援  
(チャレンジ支援補助金による支援)
- ◎新たな産業の担い手確保  
(起業準備講座や起業促進補助金による支援、オープンネーム方式による第三者承継の促進、事業承継型の起業の促進)
- ◎輪島塗の次代を担う作り手の養成に向けた官・民・産地共同プロジェクトの実施
- 観光DXによる利便性向上・周遊促進
- ◎市町による観光拠点の整備や誘客への支援(復興基金)
- 奥能登営農復旧・復興センターの設置
- ◎代替農地で営農再開する際のかかり増し経費支援等による担い手農家の収入確保 等

# 石川県創造的復興プランのアップデートについて

## 3 暮らしとコミュニティの再建

- 被災者が安心して日常生活を送るためのサポート拠点の整備
- 恒久的な住まいとしての復興公営住宅等の整備
- 地域のコミュニティ活動の拠点となる集会所や寺社などの再建支援
- ◎関係人口の創出・拡大に向けた官民連携協議体の設置や関係人口登録システムの構築等
- ◎キリコの担ぎ手や祭りの運営を補助するボランティア「祭りお助け隊」の派遣
- 輪島漆芸技術研修所の修繕と研修生の寄宿舍の整備
- ◎能登駅伝の開催準備
- 能登地域の第二次地域公共交通計画の策定
- のと里山空港の拠点機能の強化  
(復興応援ツアーや震災を学ぶ旅など定期便の利用促進等)
- 奥能登版デジタルライフラインの構築  
(公民館等におけるデジタル技術を活用したモデル的な情報拠点整備等) 等

## 4 誰もが安全・安心に暮らし、 学ぶことができる環境・地域づくり

- 奥能登公立4病院の機能強化策の実施  
(検討会の立ち上げ、新たな基幹病院とサテライトによる一体的な医療提供等についての関係者との合意)
- ◎歯科診療車の整備(県歯科医師会による導入への支援)
- ◎社会福祉施設の災害対応力の強化  
(入所施設の初動対応等の調査・分析、県指針の改定)
- 福祉人材の確保・マッチング  
(外国人雇用に向けた支援、生産性向上に向けた伴走支援)
- 石川こころのケアセンター奥能登の設置
- 避難所となる県立学校体育館の空調設備の整備
- 高校における創造的復興教育の推進  
(奥能登5校における高校と地域をつなぐコーディネーターの配置、全日制高校の震災遺構の見学など能登でのフィールドワークを通じた防災教育の推進)
- ジオパークなど震災遺構の地域資源化に向けた取り組み  
(地域資源調査、市町を対象とした勉強会の開催)
- トキ放鳥に向けた取り組みの推進  
(モニタリング体制の構築、放鳥決定記念イベントの開催)
- 初動対応・応急対応の検証の取りまとめ 等

## 復旧・復興を加速するための財政基盤の強化

能登半島地震復興基金  
(約540億円)の創設



能登創造的復興支援交付金  
(500億円)の活用

1 日も早い能登半島地震・奥能登豪雨からの創造的復興を実現するため、  
各施策の進捗を適時適切に管理し、その実効性を高める。